

柳津小学校だより

# 鳴神山



2020, 1, 17 No, 29

柳津町立柳津小学校

発行者 校長 星 潔



## 冬の避難訓練を実施しました！

避難訓練を1月16日（木）に実施しました。今回は、冬季の避難方法の確認はもちろんですが、休み時間に火災が発生したという想定で行いました。冬は空気が乾燥してものが燃えやすく、暖房器具を使っているのが、火災が発生しやすい季節です。更に逃げる際にも雪や凍結で滑りやすく大変危険です。そのために子どもたちと3つの約束をしました。

- ① 火遊びは絶対にしない。
- ② 出かけるときは暖房器具の消火をお家の人と一緒に確認する。
- ③ 「おかしもち」を必ず守る。

お→おさない か→かけない し→しゃべらない も→もどらない  
ち→ちがつかない

それでも、注意していても、火災はいつ、どこで発生するのか分かりません。先生や家族がいない時や、外出したときなど、初めての場所でも発生するかもしれません。誰にも分かりません。そんな時でも、自分たちの力で安全に避難して、自分の命を自分で守ることがとても大切になります。柳小の子どもたちが「自分の命は自分で守る」本物の力を必ず身に付けられるように、学校、家庭が一体となって取り組んで参りたいと思います。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。



## 交通安全についてお話をいただきました

1月10日（金）の全校朝の会に町交通教育専門員の目黒修さんが来校され、子どもたちに講話をしてくださいました。正しい歩行の仕方、冬の道路の歩き方などについてのお話でした。今年は雪が少ないですが、路面凍結などの危険が予想されます。またこれから積雪や落雪も予想されます。学校でも安全面の指導をして参りますが、ご家庭におかれましてもお話いただければ幸いです。事故のないチーム柳小に今年もしていきましょう。



**「自分の命は自分で守る」本物の力を必ず身に付けられるようにしよう！！**

## 校長のひとりごと（非認知能力を高めよう）

「非認知能力」が重要視されてきています。次年度から完全実施される「学習指導要領」にも、「非認知能力」の大切さが組み込まれています。それでは「非認知能力」とはいったいどんな力なのでしょう。

「非認知能力」とは、例えば、目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力などです。数がわかる、字が書けるなど、測れる力を「認知的能力」と呼ぶ一方で、測ることが難しい内面の力を「非認知的能力」と呼んでいます。

アメリカでは教育政策の効果を科学的に検証し、子どもが将来成功するカギを握る能力は学力よりも「非認知能力」だとするデータもあるそうです。うまくいかない時に諦めず「どうしてだろう。」「こうやってみよう。」など、あくまで目標の達成まで頑張る姿勢を身に付けること、我慢できること、感情をコントロールする力などを子どもの時に身に付けておくことが、大人になって社会で成功する力につながるというデータもあるそうです。

まさに柳小の推進テーマである

「やるぞ なかまと いつでも ずっと 大好き 笑顔あふれる チーム柳小」  
を達成することが、子どもたちの「非認知的能力」を高めることにつながっていくと思います。

「非認知能力」を高めるためには、次のようなことが大切になるそうです。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 子どもとの愛着関係を築く</li><li>2 目先の「結果」より「取り組む姿勢」を励ます</li><li>3 思いや感情をもった1人の人として扱う</li></ol> |
|---|

「1 お子様との愛着関係を築く」では、ただ子どもの話を聞いてあげたり、一緒に楽しむひとときを持つようにしたりすること。そして、たとえ、その日にどんなことがあったとしても、寝る前には、「大好き」とギュッと抱きしめてあげることなどが「自分は大切にされている」という気持ちを強くもつことができ「非認知能力」が高まるそうです。

「2 目先の「結果」より「取り組む姿勢」を励ます」では、まずは失敗し、そして失敗から立ち上がる体験を重ねることも大切になるそうです。先回りして子どもの失敗を防ぎ「よりよい結果」を出そうとするよりも、失敗から立ち上がる過程を励ますことが大切になるということでした。過程の頑張りを励ますことが、長い目で見て、より全体的に高い成果へとつながっていくそうです。

「3 思いや感情をもった1人の人として扱う」では、「～しなさい」と、親の意向でのみ導くよりも、「どちらがいい?」「どう思う?」と尋ねるなど、その子の意向を尊重する工夫が大切になるそうです。そうすることで、「協働力」を支える「相手に思いや気持ちを表現する力」も磨かれていくそうです。

子どもたちの「非認知能力」を高めていくために、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいくことが大切だと改めて感じました。お忙しい中ですが、ご家庭でも子どもたちに対してぜひ取り組んでいってみてはいかがでしょうか。

『子供の「非認知能力」を育むヒント！世界トップが実践する育て方』

<https://allabout.co.jp/gm/gc/474857/>

『世界で注目される非認知的能力って?』

<https://www.sukusuku.com/contents/qa/143200> より一部抜粋)